

史跡整備に伴う試掘・発掘調査について

1 試掘・発掘調査の目的

平成 31 年度以降に予定している短期的な史跡整備で行う管理・運営および公開・活用に関わる施設の整備に先立ち、遺構を適切に保存するため、試掘および発掘調査を実施する。遺構が検出された場合には計画変更を行い、遺構の保存を優先する。

2 短期的な史跡整備の概要と試掘・発掘調査の対応案

整備項目	整備内容	試掘・発掘調査の対応
① 貝層保存エリア (a) 貝層保護のための盛土	貝層が露出している範囲に対して盛土を行い、貝層を保護する	未実施 (土量を最小限に抑える)
(b) 貝層上の樹木の計画的な伐採	貝層上に根を張り、遺構に悪影響を及ぼしている樹木を伐採する	未実施 (抜根は行わない)
(c) 野外観覧施設の改修 北貝塚住居跡群観覧施設	耐震補強のための屋根改修および展示環境の改善を行う	未実施 (掘削を伴わない)
② 体験学習エリア (a) 便益施設の新設	団体(80 名程度)が収容できる多目的利用が可能な休憩室とトイレを整備する 平屋建て、約 220 m ² を想定	試掘により削平の状況を把握する
③ 復元集落エリア (a) 竪穴住居の復元	新たに 1 棟の竪穴住居を復元整備する (平成 3 年度整備地点での再建)	未実施 (新たな掘削を伴わない)
(b) 水飲み場の新設	体験学習のための水飲み場を新設する 既設給水タンクから給水管を延長する 排水用の污水管を新設する	確認調査を実施する (遺構の検出状況を踏まえて位置・ルートを見直す)
(c) 放送設備の改修	イベント時、災害時に放送での呼びかけを行えるよう放送設備を設置する	未実施 (掘削を伴わない)
④ 展示解説 (a) サインの改修	板面の修正が容易な仕様に変更する ビジュアルで分かりやすい内容にする 多言語化への対応を行う 撤去 14 基、新設 11 基	新たな地点に設置する 2 基について試掘を実施する (遺構が確認できない範囲に設置する)

整備項目	整備内容	試掘・発掘調査の対応
⑤ 環境整備 (a) 歩行者用園路の改修	南貝塚園路の土系舗装を行う ①博物館から復元集落エリアまで 延長：230m 幅：2m ②公園入口から南貝塚観覧施設まで 延長：90m 幅：2m	確認調査を実施する (遺構の検出状況を踏まえてルートを見直す)
(b) 管理用道路の整備	南貝塚外周園路を管理用車両が通行可能な舗装・幅員に改修する 延長：310m 幅：3m	確認調査を実施する (遺構の検出状況を踏まえてルートを見直す)
(c) 四阿・ベンチの新設	急な降雨や雷雨に備え、南貝塚の東側に避雷針付きの四阿を新設する（2か所） 園路を散策する利用者のため、ベンチを増設する（2か所）	四阿の設置地点について確認調査を実施する (遺構の検出状況を踏まえて位置を見直す) ベンチの設置地点について試掘を実施する (遺構が確認できない範囲に設置する)

3 確認調査が必要な範囲

整備項目	調査対象面積	整備内容等
① 水飲み場	2 m ²	
② 給排水設備	200 m ²	延長 100m×幅 2m
③ 歩行者用園路	640 m ²	延長 320m (230m+90m)×幅 2m
④ 管理用道路	930 m ²	延長 310m×幅 3m
⑤ 四阿	98 m ²	7m×7m×2 基
合計	1,870 m ²	